



ザリガニはどれくらい生きるの

ザリガニは、アメリカからきた

今、日本全国で見られるザリガニは、1930年に、アメリカから食用ガエルのえさとして、日本に運ばれてきたアメリカザリガニです。アメリカザリガニは、すみ心地のよい田んぼがあちこちにあり、敵も少なかった日本で、北海道以外の全国にふえて広がりました。日本に昔からいたニホンザリガニは、東北地方と北海道に、わずかに残っているだけになりました。ここでは、アメリカザリガニを、ザリガニの例としてお話しします。

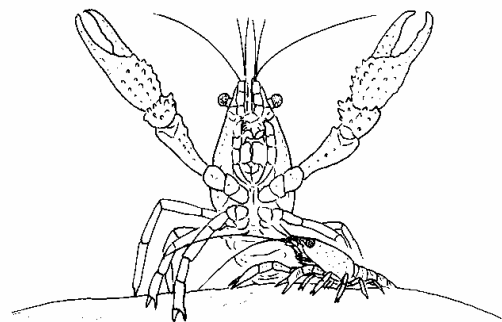
ザリガニは、3年目におとなになる

ザリガニは、生まれてから1年で、7～10回ぐらいだっ皮をくり返して、およそ4.5センチメートルぐらいの体の大きさになります。さらに何回かだっ皮して、2年目に、7センチメートルぐらいまで大きくなります。でも、まだこの時期は、はさみも小さく、体の色も茶っ色で、子どものザリガニの色です。3年目になって、赤いりっぱなはさみをもつ、体全体が真っ赤な、かたい殻をきた、おとなのザリガニになります。

ザリガニのじゅ命は5～6年

ザリガニは、おとなになってからも、生活する場所や条件がよければ、2～3年は、生きて活動するようです。ですから、アメリカザリガニは、5～6年は生きていられるようです。自然の中の、生き物のじゅ命は、なかなか確かめることがむずかしいのです。

(監修・中山 周平)



アメリカザリガニのおとなと子ども

